



平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月9日

上場会社名 北川精機株式会社

コード番号 6327 URL <http://www.kitagawaseiki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 北川 条範

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長

(氏名) 小林 由和

TEL 0847-40-1200

四半期報告書提出予定日 平成27年11月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第1四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-----|-------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年6月期第1四半期 | 614 | △28.7 | △66 | — | △88 | — | △66 | — |
| 27年6月期第1四半期 | 862 | 19.2 | 55 | — | 62 | — | 73 | — |

(注) 包括利益 28年6月期第1四半期 △89百万円 (—%) 27年6月期第1四半期 69百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年6月期第1四半期 | △9.52 | — |
| 27年6月期第1四半期 | 10.56 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年6月期第1四半期 | 6,126 | 1,138 | 14.1 | 124.37 |
| 27年6月期 | 6,582 | 1,234 | 14.3 | 135.21 |

(参考) 自己資本 28年6月期第1四半期 865百万円 27年6月期 940百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年6月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 28年6月期 | — | — | — | — | — |
| 28年6月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|-------|------|-------|------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 1,390 | △36.9 | △30 | — | △70 | — | △50 | — | △7.19 |
| 通期 | 4,450 | 4.0 | 220 | △18.1 | 140 | △45.1 | 150 | △16.9 | 21.56 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に係る事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に係る事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|--------|-------------|
| 28年6月期1Q | 6,959,600 株 | 27年6月期 | 6,959,600 株 |
|----------|-------------|--------|-------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|---------|--------|---------|
| 28年6月期1Q | 1,796 株 | 27年6月期 | 1,796 株 |
|----------|---------|--------|---------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 28年6月期1Q | 6,957,804 株 | 27年6月期1Q | 6,957,804 株 |
|----------|-------------|----------|-------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策効果の下支えもあり、総じて緩やかな回復基調が続きました。世界経済は、欧州の不安定な情勢、中国及び新興国の減速感等、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと当社グループは、新中期経営計画「新領域へのチャレンジ」～新たなK I T A G A W Aの確立～をスタートさせました。前中期経営計画における事業構造改革による業績改善基調を一層盤石なものにするため、引き続きこの体制を強化するとともに、これまで培ってきたプレス技術を駆使し、今後の大きな飛躍への土台造りとして、新領域へもチャレンジしてまいります。

このため当社グループは、高品質・高付加価値製品の開発や、主要製品の営業強化、案件毎の原価管理、諸経費削減等、積極的に取り組んでまいりました。

なお、当社グループは、主要製品が個別受注生産によるため、売上計上までに相当期間を要し、製品の納期・受注金額にバラツキがあることから、月単位での売上高が大きく変動するという特徴があります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高614百万円（前年同四半期比28.7%減）、営業損失△66百万円（前年同四半期は55百万円の利益）、経常損失△88百万円（前年同四半期は62百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失△66百万円（前年同四半期は73百万円の利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(産業機械事業)

スマートフォン・タブレット端末関連企業向けプリント基板成形用プレス機械が主要製品ですが、大型案件の売上が少なかったこと等から、売上高515百万円（前年同四半期比31.1%減）、営業損失35百万円（前年同四半期は73百万円の利益）となりました。

(建材機械事業)

合板プレス・合板機械が主要製品ですが、受注が先送りになったこと等から、売上高37百万円（前年同四半期比55.9%減）、営業損失38百万円（前年同四半期は19百万円の損失）となりました。

(その他)

油圧機器の売上が好調に推移し、売上高62百万円（前年同四半期比111.1%増）、営業利益8百万円（前年同四半期比128.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、6,126百万円となり、前連結会計年度末に比べて455百万円の減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金401百万円の減少によるものであります。

(負債)

負債合計は4,988百万円となり、前連結会計年度末に比べて359百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金169百万円、支払手形及び買掛金66百万円、未払法人税50百万円、長期借入金61百万円の減少によるものであります。

(純資産)

非支配株主持分を含めた純資産合計は1,138百万円となり、前連結会計年度末に比べて95百万円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失△66百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年8月19日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想に関して修正の必要が生じた場合は、速やかに開示します。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,214,484 | 1,013,155 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,517,481 | 1,115,892 |
| 商品及び製品 | 2,236 | 46,078 |
| 仕掛品 | 393,081 | 478,077 |
| 原材料及び貯蔵品 | 181,251 | 187,200 |
| その他 | 53,194 | 89,193 |
| 貸倒引当金 | △26,705 | △6,195 |
| 流動資産合計 | 3,335,025 | 2,923,403 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 941,632 | 922,489 |
| 土地 | 1,761,691 | 1,752,393 |
| その他(純額) | 206,136 | 200,001 |
| 有形固定資産合計 | 2,909,461 | 2,874,885 |
| 無形固定資産 | | |
| | 8,224 | 7,600 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 342,907 | 351,646 |
| 貸倒引当金 | △13,390 | △31,128 |
| 投資その他の資産合計 | 329,517 | 320,518 |
| 固定資産合計 | 3,247,203 | 3,203,003 |
| 資産合計 | 6,582,228 | 6,126,407 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 755,052 | 688,379 |
| 短期借入金 | 2,948,447 | 2,779,174 |
| 未払法人税等 | 55,530 | 5,238 |
| 賞与引当金 | 23,943 | 54,317 |
| 役員賞与引当金 | 8,500 | 10,500 |
| 製品保証引当金 | 34,350 | 32,860 |
| 受注損失引当金 | 7,107 | 8,327 |
| その他 | 611,015 | 566,259 |
| 流動負債合計 | 4,443,946 | 4,145,056 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 512,634 | 451,030 |
| 役員退職慰労引当金 | 39,677 | 37,644 |
| 退職給付に係る負債 | 315,385 | 321,492 |
| その他 | 36,585 | 33,114 |
| 固定負債合計 | 904,281 | 843,282 |
| 負債合計 | 5,348,228 | 4,988,338 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,250,830 | 1,250,830 |
| 資本剰余金 | 1,256,565 | 1,256,565 |
| 利益剰余金 | △1,600,862 | △1,667,075 |
| 自己株式 | △1,094 | △1,094 |
| 株主資本合計 | 905,437 | 839,225 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 20,630 | 13,186 |
| 為替換算調整勘定 | 14,714 | 12,906 |
| その他の包括利益累計額合計 | 35,344 | 26,093 |
| 新株予約権 | 4,140 | 4,140 |
| 非支配株主持分 | 289,078 | 268,610 |
| 純資産合計 | 1,234,000 | 1,138,069 |
| 負債純資産合計 | 6,582,228 | 6,126,407 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 862,304 | 614,728 |
| 売上原価 | 626,005 | 520,566 |
| 売上総利益 | 236,298 | 94,162 |
| 販売費及び一般管理費 | 180,922 | 160,411 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 55,376 | △66,249 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 49 | 161 |
| 受取配当金 | 397 | 513 |
| 固定資産売却益 | — | 7,654 |
| 為替差益 | 29,220 | — |
| その他 | 2,795 | 2,328 |
| 営業外収益合計 | 32,462 | 10,659 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 16,430 | 17,370 |
| 遊休資産諸費用 | 8,461 | 7,536 |
| その他 | 54 | 8,416 |
| 営業外費用合計 | 24,946 | 33,324 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 62,892 | △88,913 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 117 |
| 特別利益合計 | — | 117 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1,766 | — |
| 特別損失合計 | 1,766 | — |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 61,126 | △88,796 |
| 法人税等 | △5,966 | △8,616 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 67,092 | △80,179 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △6,350 | △13,967 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 73,442 | △66,212 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 67,092 | △80,179 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,259 | △7,443 |
| 為替換算調整勘定 | 3,327 | △1,807 |
| その他の包括利益合計 | 2,068 | △9,251 |
| 四半期包括利益 | 69,160 | △89,431 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 75,510 | △75,464 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △6,350 | △13,967 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合 計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|------------|------------|---------|-------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | 産業機械 事業 | 建材機械 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 747,609 | 85,329 | 832,938 | 29,365 | 862,304 | — | 862,304 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 73 | — | 73 | 13,897 | 13,971 | △13,971 | — |
| 計 | 747,683 | 85,329 | 833,012 | 43,263 | 876,275 | △13,971 | 862,304 |
| セグメント利益又は損失(△) | 73,708 | △19,206 | 54,501 | 3,799 | 58,301 | △2,925 | 55,376 |

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、油圧機器等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合 計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|------------|------------|---------|-------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | 産業機械 事業 | 建材機械 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 515,127 | 37,601 | 552,728 | 62,000 | 614,728 | — | 614,728 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | 6,037 | 6,037 | △6,037 | — |
| 計 | 515,127 | 37,601 | 552,728 | 68,037 | 620,765 | △6,037 | 614,728 |
| セグメント利益又は損失(△) | △35,218 | △38,451 | △73,669 | 8,673 | △64,995 | △1,253 | △66,249 |

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、油圧機器等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。